

厚生労働省トピックス②

(人材開発統括官)

令和6年度予算案における 重点事項（ポイント）

（注）金額は令和6年度予算案、（ ）内は令和5年度当初予算額

- リ・スクリーニングによる能力向上支援
 - 【1,175億円（1,080億円）】
 - 在職時からの継続的な支援を行うキャリア形成・リスキリング推進事業等の実施
 - 38億円（22億円）
 - 公的職業訓練のデジタル分野の重点化によるデジタル推進人材の育成
 - 540億円（546億円）
 - 多様な人材に対する支援
 - 【82億円（78億円）】
 - 技能実習制度の抜本的見直しに向けた外国人技能実習機構の体制整備等
 - 66億円（62億円）
 - 障害者の多様なニーズに対応した委託訓練の実施
 - 15億円（二）
 - 受講者の特性に対応した特色支援するためのキャリアコンサルタント向け研修の実施
 - 0・8億円（0・4億円）
 - 技能者人材の育成・技能振興の支援
 - 【69億円（63億円）】
 - 技能検定等推進費
 - 24億円（25億円）
 - 各種技能競技大会等の推進事業・各種表彰
 - 21億円（16億円）
 - 就職氷河期世代、多様な課題を抱える若年者・新規学卒者の支援【162億円（163億円）】
 - 就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援
 - 24億円（22億円）
 - 非正規雇用労働者への支援【259億円（268億円）】
 - ステップアップを目指す非正規雇用労働者等に対する求職者支援制度による支援
 - 259億円（268億円）
 - 地域若者サポートステーションにおける就職氷河期世代を含む就労自立支援【46億円（48億円）】
 - 新卒応援ハローワーク等における多様な課題を抱える新規学卒者等への支援
 - 87億円（86億円）

